



有限会社 EES 研究所ニュース

代表者：大岡 五三實 工学博士 技術士(機械部門)
 住所：〒570-0001 寝屋川市成田東町18-11
 電話、Fax：072-832-4866 電子メール：ooka-ees@mvd.biglobe.ne.jp

EES 研究所とは・・・

1. EES とは Energy & Environment System の略で、エネルギーと環境に関する技術開発を、自主または委託業務として行っています。
2. 業務の内容には、つぎのようなものがあります。
 プロセスの解析、プロセスシステムの設計、プラントの設計、試運転、運転管理およびそれらに関係したコンサルティング、教育・訓練の支援を行っています。
3. これまでの主な業務分野はつぎの通りです。
 各種ガス発生設備、ガス精製設備、コ・ジェネレーション設備、冷暖房設備、LNG 設備
 廃棄物焼却設備、同発電設備、キュポラ排ガス利用設備、下水汚泥溶融設備 等

最近、産業廃棄物焼却・発電設備のプロジェクトが完了し、その技術経験がまとまり、関係者に提供できるようになりました。ご興味のある方はお問い合わせください。

設計例

図は新しい形式の焼却炉－発電用廃熱ボイラを示します。焼却炉については図に示すもの以外に、従来形式のストーカー炉、流動床炉やロータリキルンなど、被焼却物に適したものを使用することができます。仕様

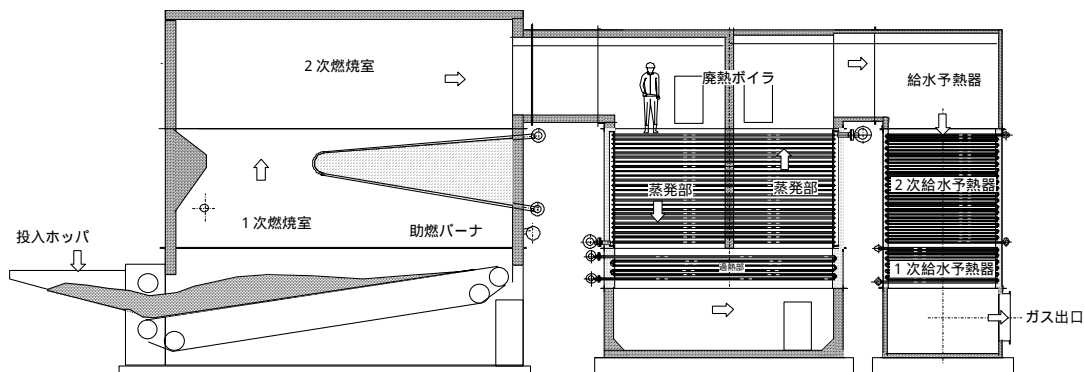
ボイラ伝熱面積	蒸発部 253 m ² , 過熱部 119 m ²
給水予熱器伝熱面積	1次 80 m ² , 2次 239 m ²
タービン入主蒸気圧力、温度	3.0 MPa, 380 °C
タービン背圧蒸気圧力	-0.7 kPa

予想成績(伝熱面清浄時)

ボイラ入りガス流量、温度	4,5640 m ³ _N ・h ⁻¹ , 1,000 °C
給水予熱器出ガス温度	241 °C
タービン入主蒸気流量	16,757 kg・h ⁻¹
タービン発電機出力	2,396 kW

特徴

ボイラの大部分を工場内で内作り、現場で組み立てるため建設費が安価になります。ボイラの運転、清掃、点検および保守が用意です。このタイプのボイラで最高 10,000kW 程度の発電が可能です。



パッケージ形バイオマス焼却炉-廃熱ボイラの断面図 (発電出力～4,000kW)

サーマルリサイクルで地球温暖化防止に協力をしましょう！
EES 研究所はプロジェクトをサポートします。